

夕刊 警城時報

行發日六
印刷所警城時報社
印刷所警城時報社
印刷所警城時報社
印刷所警城時報社
印刷所警城時報社
印刷所警城時報社
印刷所警城時報社
印刷所警城時報社
印刷所警城時報社
印刷所警城時報社

平市明年度豫算 大体五十万圓が 當局編成を急ぐ

平市では新豫算の編成に苦心を償還金が大口三ツで一萬五千圓續けてゐたが今月早々手を止め十五圓を完済せる上に新年度から、歳入方面も漸や完了を告げらるる二、三年國庫補助一千圓て来る七、八日頃成案を携へ出づらうと、三年國庫補助一千圓縣承認を求むることになつた明びに恵まれた結果であつて、此年度の同額額は前年の當初額以上の外に新設される工業校の起債若千増加するも五十萬圓は出十萬圓はあるが三ヶ年据置きのぬ模様であつて、特別戸數割事情上豫算には同期間だけ利子は昨年同様増すつたらしいのみであるから大した影響はな此の遺繰りは鎌田町の市有地賣いと云ふことになつてゐる譯で却を計上しないが上水道負債のある

平市建國祭 市内を大行進 紀元節の催し

来る十一日の紀元節の佳節に於ける二十九日まで受ける、志る平市では午前九時サイレンを吹鳴り入學願を出身又は在學中合圖に宮城通拜をなし同十時第一の小學長を導出し志望の學校を執行し其れが終ると同時に市新制度の入學考査(人物考査及聯合青年團プラスバンドを先頭)及び身体検査は三月二十五日から全市に亘る建國大行進を行ひ三日間乃至四日間一齊に行はれ縣社子館倉神社々頭に於て是軍、兩校の募集人員は左の如くの武進長久所願祭を執行して解散する。
警中二百五〇名、平商一五〇名

警中、平商 願書受付

平市内警中、平商中等學校では来る四月入學を許可する第一平局では保險及び年金兩事業の學年の生徒の入學願を来る十日まで普及向上を期するたため

年金懇談會 平局で

日大生被しに運座した徳田榮子(好間村日曹小田炭礦指定版さん(二六)は刑期三ヶ月を満し賣所稻葉八郎三氏(嚴父)に連れ三日午後仙臺宮城刑務所を出られ五日午後三時四分平驛着身柄引取りに向つた東京市目黒区平市出町の伯父齒科醫院黒島向原町三二六の稻葉廣告と鈴木健太郎氏宅に入つた、平驛

水難救濟 宣傳映畫會

帝國水難救濟會福島支部では近々縣下各地で宣傳映畫並に浪曲を催すが、地方の開催日は左の如くである。
三月六日植田、勿來△七日湯本、内郷△八日平好間△九日小名濱、江名△十日四倉

歸還兵が 火災義金

酒井部隊遠藤隊鈴木市上等兵は五日平驛通過歸還したが、平驛で静岡大火の義捐金として五圓と送料一回を驛長に寄託した

上遠野、入遠野 青年炭焼部隊 十三日から全員出動 九百俵を生産する

上遠野、入遠野兩村は郡内第一六九八名が出動、炭焼伐の木炭生産地であるが、兩村青木、製炭、依製、搬出等分業作年團では齋藤上遠野校長、村原業により九百俵を生産する方針入遠野校長の兩青年團長が全責を担つて材料は國有林の拂下を針三月末日までの間努力奉仕に、女子部百五十名は繩、依よつて製炭事業を行ふ事になつた運動の國策に副ふと同時に純利、林産物検査所平支所吉村枝は青年團活動資金に充てるとい手の指導により入遠野村大字大ふ一石二鳥の名案である。
平地内に四寮を築き團員延人員

胸に「更生」を秘めて 釋放された榮子さん よのふ平市に寄る

に下車した榮子さんは流石に憔悴の色濃くラッタの襟巻に顔を埋めて小走りをして行つた。何も聞かないで下さい」と鈴木氏宅に飛込んでしまつた、伯父廣告さんは代つて語る。
「昨夜出所し喜びの中にも感慨無量で人様とお話する事さ榮子さんは六日午前五時上京し(出来ないう様です、榮子のた。

精動通信 不作に安値なし 不作に高値なし

「節米一割」の報國運動に關節米は出来ないことなるので聯し興味ある言葉がある、或るあつて、節米一割が出来るといふうかは國民の氣もちが節米に向うか否かになる譯である。
昔の相場師が、金料玉條の如く守つてゐたと云ふ相場師の一件に「不作に安値なし、不作に高値なし」と云ふ言葉であらうか否かになる譯である。昔の古老の言葉の如く「不作だから米要となつて来た。局長の八丁氏自分の意見が合はばは八丁氏に人格に信賴してわざと親友の秋山を移民村に派して康吉の腹起を要望した。重大使命を負ふた康吉は懐しい移民村に別れをつけて熱河に飛び進出と戦つた。鐵道建設の測量に従ふことになつた。康吉はこの工場では苦力に落着いてゐた弟の徳雄には後から會つた、今は全てを後悔して徳雄は兄の大きな胸に抱かれるのだつた。測量隊を襲ふ匪賊の襲撃は日まじりに烈しくなり、いよいよ大々的な總攻撃が行はれやうとしてゐた。この計謀を知つた李雪香は始めて自分の非を知りこの計謀を切つて逃げやうとして危険を切り抜けて康吉の許へやつて来たのだつた。久方振りに相逢ふ二人。二人の胸には無言のうちに全てを諒解する熱い氣持が流れて来た。しかしその時多勢を頼む匪賊が雪崩のやうに押し寄せた。銃をとりつて迎撃する。しかし匪賊の打つた弾を避けて来た。銃をとつて倒れる。二人、康吉も雪香も新大陸建設の尊い礎石となつて散つたので

平署で 武徳殿開放 専用列車に 跳ね飛ばさる

平署では舊正月三日に午後一時から五時まで武徳殿を開放一般の武進稽古を行はしめる
平署で
武徳殿開放
専用列車に
跳ね飛ばさる
白蘭の歌

白蘭の歌

「荒涼千里限りなき曠野に自然の猛威に抗し跳躍する匪賊と戦ふ。二人、康吉も雪香も新大陸建設の尊い礎石となつて散つたので

あつた。しかし二人の遺志は立派に實を結び念願の鐵道は開通した。二人の墓碑の前をどう然たる秋輪の音を立て、處女列車が通過して行くのであつた。
▼エンケンの頑張り戦術
サラーマンは如何に生きるべきか、親愛なるサラーマン諸君笑ひの一手で頑張り戦術をお目にかけよう。エンケンの最新奥技をサラーマンの最新奥技を御覽下さい。アメリカ映畫などは多く見られる水上スキーの壯觀日本映畫では殆んどこれが最初だらう。エンケンの頑張り

文部省習字科檢定委員
國定習字本筆者
鈴木翠軒先生御選定
愛國筆
清樂筆
一本金拾錢より金五圓迄

文魁文堂
電話313番

洋酒と喫茶
麗人のサービス
氣分本位の店

タイラキエン通
グールバックス
電話二一〇番

戦術には關東水上スキー俱樂部の選手連が愉快なスピードで駆け出で、スリルを満喫させてくれる。
▼パラマウント 超特作
ブルルウ(神)
馬の奥地カイ地方にブルルウがある、彼等は旅の畏怖する全てを諒解する熱い氣持が流れて来た。しかしその時多勢を頼む匪賊が雪崩のやうに押し寄せた。銃をとりつて迎撃する。しかし匪賊の打つた弾を避けて来た。銃をとつて倒れる。二人、康吉も雪香も新大陸建設の尊い礎石となつて散つたので
(翌夜二回上映) 聚樂館

塗料剝離
油類離脱
防錆洗滌
理想的發明 (絶對火氣安全)

ライオン印 千代田液の發賣

專賣特許「ライオン印千代田液洗油」ハ弊社化學研究所ニ於テ過大ノ努力ト經費ヲ要シ多年苦心研究ノ結果發明完成セル近代科學ノ所産デアリ、實ニ我輩工業界ノ要諦ヲ完全ニ具スベキ理想的優劣ナル國産品デアリマス。
ライオン印千代田液洗油ノ出現ガ以上ノ使命ヲ果スト共ニ從來專門ノ「スチム」ニ於テ使用セラレツ、有リシ輕油(洗油)ノ揮發(諸機械・自動車部分品・工具類・其他)一般油(洗濯用)ニ代リ革新的變化ヲ齎ラスト共ニ、今次支那事變勃發、歐洲戰亂ノ結果該品ノ不足ニ鑑ミ大ナル國益的貢獻ヲ致シマスコトヲ確信スルノデアリマス。
▲用途(一)一般建造物、艦船、橋梁、飛行機、汽車、
▼玆ニ本液洗油發賣ノ主旨ヲ鮮明スルト共ニ各位ノ御愛用ヲ乞フ
▼諸官省、會社、工場等ヨリ御申越ハ出張御説明申上マス

千代田液洗油福島縣一手販賣

古銅鐵
中古機械商 伊本春松商店
各種容器
福島縣四倉新町
電話(呼)四十七番

【説明書呈ス】

御知らせ

資物 愛護
舊元日 正二月三日 八自肅休業
來ル舊正月元日ヨリ三日マデ休業致スコトニ協議ノ結果決定仕リ候間舊年内ニ御用命ハ仰付願上候

國策 順應

尙來ル二月十五日ノ公休日ハ營業可仕候

昭和十五年二月三日

四倉商業報國會

おでん 酒の店
やき鳥 味 郷
茶めし
平三田小路

歸郷御挨拶

謹啓 時下嚴寒之候益御清適の段奉賀候陳者小生今事變頭初應召以來○○陸軍病院外科勤務中は公私共多大の御高配を賜り大過なきを得常に感謝仕居候今般不圖も召集解除ニ相成歸郷仕候就いては今後銃後にあり一層勉勵仕心組に御座候間何卒倍舊の御鞭撻を賜り度茲に謹みて御挨拶迄如斯御座候 敬具
昭和十五年一月卅日
平市 南町
上田耕作

御婚禮御着附
パールマントウエープ

御婚禮用髪を御利用下さい
和洋 結髪
オゾン美顔術
御染髮洗毛
平市 駅前
水野化粧院
電話(六七八)營業所
(五二五)自宅



魚清 なべ料理

自慢の なべ料理
鳥なべ・ちりなべ・よせなべ・ねぎなべ
かきなべ・はもなべ・あんこなべ・その他
出前・速前
平三孝泰 魚清食堂
出前持・炊事婦人用
電話 六三三番

ダンス・鏡臺

御婚禮調度品を
取揃へました
是非
和久井屋
御越下さい
平市一丁目【電話四〇五番】

干やなぎ
いか切込み
平市土橋
丸仙商店
電話 六六二番

太鼓 各種

神社佛閣用太鼓
武徳道場用太鼓
歓迎迎音樂隊樂器(タナメ製品)
……カタクダ進呈……
平市六町目
佐藤太鼓樂器店
電話 四八三

神戶牛 すき焼

「旨い」と一言にして盡く
相始め申候
日本料理 山茶莊
電話 五二〇番

パン食普及の時代!

毎度有難う御座います
自慢の食パン 一斤十六錢
榮養パン バターロール
甘コッパン チョコレートロール
野菜サラダパン クリームロール
カレーパン・カツパン・黒パン
ベーカーリー 東京堂
平市播磨小路【電話一〇八番】

冷凍魚

日本水産特約(電三六三三六)
御小賣平製氷會社
尾箱平代理店 平魚問屋
電話 三三三

北川外科

内臓外科
レントゲン科
晝夜診療
入院隨時
醫學博士 北川 芳夫
平市新川町【電話四六四】